

(令和5年11月1日発表)

観光産業のDX化に向けた人流データ活用実証事業の開始

◆アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> ●観光庁補助金を活用し、民間の協力事業者（株）TOKAI ケーブルネットワーク、ピーディーシー(株)とともに、<u>最新のデジタル技術を活用した人流データ活用の実証事業</u>に取り組みます。 ●来訪者のスマートフォンが発信する、Wi-Fi アクセスポイントへの接続履歴に関する信号を受信することで、<u>個人を特定することなく、来訪者の属性や周遊・滞在状況を把握・分析</u>します。 ●これまで把握が難しかった、施設単位での来訪者や外国人旅行者（インバウンド）に関する非推計データの把握が期待されることから、<u>取得したデータは、単なる分析に留まらず、観光分野のマーケティング活動等での活用を検討するため公表</u>していきます。
◆事業期間 (予定)	<u>令和5年11月6日(月) ～ 令和6年11月30日(土)</u> ※期間中は常時データの取得・分析を実施
◆場所	<u>静岡市内の観光地・観光施設等 約70箇所にセンサーを設置</u> ※うち約20箇所は技術検証のため令和4年12月から継続設置中
◆内容など	<p>【データ取得・分析の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①来訪者のスマートフォンは、<u>Wi-Fi アクセスポイント (SSID) への接続履歴情報を定期的に発信</u> ②設置したセンサーが受信した接続履歴情報に、<u>ユニークIDを付与したうえでクラウドに保存</u>（個人情報には非該当） ③Webブラウザ上の分析サービスで、<u>接続履歴情報やセンサーへの接触状況等から、来訪者の属性・動向等を把握・分析</u> <p>【今後の展望】</p> <p>人流データを活用することで、ターゲットを明確にした誘客プロモーションや、来訪者の実際の動向を踏まえた周遊企画など、観光産業全体で効果的な施策を実施することを目指していきます。</p> <p>なお、事業期間終了後も持続的に人流データを活用する体制の構築を検討するため、民間事業者による活用ニーズの把握や、活用事例の創出を図ります。</p> <p>また、今後、分析サービス内でAIによる施策評価機能が実装される予定であり、より高度な分析や活用の可能性についても検証を行います。</p> <p>※事業の詳細は以下 URL をご確認ください。 https://www.city.shizuoka.lg.jp/526_000001_00168.html</p>

 別紙資料 有・**(無)**

ぜひ取材をお願いします！

 イベントカレンダーへの掲載 有・**(無)**
【問合せ】 観光・MICE 推進課 (静岡庁舎 17 階)

担当 大石、石田

電話 054-221-1438